



毎月5日発行

M o n t h l y

# 情報掲示板

社会保険労務士法人MAC 税理士法人 望月会計

TEL:0263-34-4488

FAX:0263-34-0054

第 80 号

<http://www.sharou-mac.com/index>

## 「労働災害のない職場づくり」に

### 向けた緊急対策

#### 増加する労災死亡事故

厚生労働省が「平成 26 年上半期の労働災害発生状況」を発表し、死亡者数が 437 人(対前年比 71 人、19.4%増)、休業 4 日以上之死傷者数が 4 万 7,288 人(同 1,625 人、3.6%増)となり、昨年から大幅に増加したことが明らかになりました。

同省では死亡者の大幅増加を受け、「労働災害のない職場づくりに向けた緊急対策」を実施するようです。

#### 「緊急対策」の内容

緊急対策の柱としては、以下の 2 点となります。

(1) 業界団体などに対する労災防止に向けた緊急要請

・産業界全体に対する企業の安全衛生活動の総点検の要請

経済活動の一層の活発化が見込まれる中で労災の増加が懸念されることから、産業界全体(約 250 団体)に対し、企業の安全衛生活動の総点検と労使・関係者が一体となった労災防止活動の実施を要請。

・労災が増加傾向にある業種に対する具体的な取組みの要請

特に労災が増加している業種(製造業、建設業、陸上貨物運送事業、小売業、社会福祉施設、飲食店)に対

しては、労災防止のための具体的な取組内容を示し、その確実な実施を要請。

(2) 都道府県労働局、労働基準監督署による指導の内容

都道府県労働局と労働基準監督署において、労働災害防止団体などと連携した安全パトロールを実施するほか、事業場が自ら実施した安全点検の結果などを踏まえた指導などを実施。

#### 労災発生状況のポイント

全産業における死亡者数(437 人)を業種別に見ると、建設業(159 人)、第三次産業(92 人)、製造業(82 人)、陸上貨物運送事業(55 人)の順で災害が多発していたそうです。

建設業では、屋根、足場、はしご・脚立などからの「墜落・転落」と、建設機械などに「はさまれ・巻き込まれ」による死亡者が大幅に増加し、陸上貨物運送事業では、荷積み、荷下ろし時のトラックからの墜落をはじめとした「墜落・転落」の死傷災害が増加、第三次産業(小売業、社会福祉施設、飲食店)では、転倒や無理な動作による腰痛などが増加していたようです。

これらの増加要因として、同省は「景気回復で企業活動が活発になる中、人手不足で現場に経験の浅い労働者が増え、事故につながっている」としています。

今後、対象の業種には、自主点検票の送付や研修会の開催などの取組みの強化がなされていくようです。